



# 笹中だより

## 学校教育目標

自立 自ら学び  
共生 互いを支えあい  
創造 未来を創る笹中生

横浜市立笹下中学校 ☎ 045-841-1333 令和4年11月29日(火)12月号

笹中HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/sasage/>



## 「人権週間」に寄せて

校長 山岸 隆夫

1948年国連総会で「世界人権宣言」が採択され、国内では毎年12月4日から10日まで、人権週間として全国的な啓発活動が行われています。笹下中でも、「誰もが、安心して、豊かに」生活できる学校を目指して、この時期に人権標語つくることから、人の気持ちを理解できるような人権意識を高める学習に取り組んでいます。ただこれが標語だけでなく実際の学校生活で生きるような取組を、教職員と生徒、みんなで作り上げていきたいと考えています。

10月に市教育委員会から発表された令和3年度の「いじめの状況調査」では中学校では1338件(38.7%の増)、いじめの態様では「冷やかしからかい、悪口脅し文句、嫌なことを言われる」が55.5%と最も多いと報告されています。

差別やいじめのひとつの形が、仲間はずれにすることです。グループから、特定の人を仲間外れにしたり、悪口を言ったりする「Line いじめ」話題になっています。人とつながるためのツールを逆手に取った陰湿な行為です。仲間はずれにされたり、無視されたりすることは、とてもつらいことです。

「きも(きもい)」「うざ(うざい)」「バカじゃないの」「しね」こんな言葉を投げつけられて、傷つけられています。身体の傷は、痛みがありますが、時間とともに癒されていきます。しかし、心に傷つけられた痛みはそう簡単には癒えません。それどころかどんどん蓄積してしまい、重大なダメージを相手に与えてしまうこともあるのです。

今の大人の社会でも、相手に対する誹謗中傷(悪口や非難)がSNS上で大きな問題となっています。匿名であることで、直接関係のない人に対しても、自分の不満を晴らすためかのように、相手攻撃をしています。

自分と同じ考え方でない、自分と同じようには行動しない相手に、自分の不満やいらだちをぶつけてしまうことは、誰にも覚えのあると思います。一緒に生活している中で、人と考え方や行動の違いから、ぶつかってしまうことは避けられません。しかし、その解決方法として、無視をし、悪口で攻撃することは良い方法なのでしょうか。自分と違うものを排除する考え方は、とても危険なものではないかと思います。

自分の行動に迷ったときに、自分の心の声に耳を澄ましてほしいと思います。「自分の言葉や行動は、自分の良心に沿ったものであったらどうか。」「自分の不満を出して、傷つけていないだろうか。」「相手の方が悪く、自分だけが正しいと考えていないだろうか。」

平和であるためには、まずあなたの近くに人と一緒に幸せであることが大事ではないかと思います。相手との違いを認め、理解し許容することが必要ではないかと思います。そうはいつでも、誰とでもうまくできるとは限りません。その時には、一定の距離を置きながら対応していくことが大切になってくると思います。自分の良心を正しく持って、自信をもって生活していきたいものです。

